

# 人権教育研究テーマシート

担当（分掌、学年部、教科等）  家庭科	実施期間  例年 9月～10月
テーマ  子どもの人権 高齢者の人権	
「静岡県が目指す基本的な方向性」との対応 （対応する番号に を記載する。複数選択可） 参照：静岡県教育委員会「様々な人権問題と人権学習」	
内容 家庭基礎の授業において保育分野では、子どもの人権や福祉について触れ、児童虐待の種類や原因問題点について学習した。 高齢分野では、高齢社会の現状、福祉、介護保険制度とともに、高齢者に対する尊厳を学習した。 1年の学年行事に保育体験実習があり、実習前に、子どもと話すときは目線を合わせることや子どもの気持ちを考えて行動することを学習する。	
実施後振り返って ・生徒の様子・感想・変化など 児童虐待はニュースや新聞で耳にすることもあり興味関心はあったようだが、虐待の種類として身体的虐待の他、心理的虐待やネグレクト（育児放棄）、性的虐待などあることは知らなかったようだ。また、虐待を行った者が実母であるという件数が半数以上であったことも意外な様子だった。 日本が高齢社会である現状やその原因は理解しているが、介護保険制度は高校生にとっては身近に感じられなかったようだ。 ・実施した教員の感想・意見 児童虐待については本人が体験している場合もあるので、個人的な質問は避け、社会で話題になっているケースを取り上げた。子どもの人権については、子どもの権利条約や児童労働について時間をかけて行うべきだと思った。 高齢者の介護は家庭で隔離して行っていた時代から、地域全体で行う時代になったため、介護保険制度については説明もしやすいのだが、高齢者一人ひとりの人権や生きてきた個人の歴史に遡って、尊厳の気持ちを持つべきという指導まで至らなかった。	